

一般質問

9月定例会



9月8日～10日の3日間にわたり、12名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載で、内容は各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。なお、正副議長は、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。



YouTube「飯山市議会」チャンネル

台風19号被害の復旧復興と雨水排水路整備



上松永林議員

共生社会実現・コロナ禍の観光支援について



水野正彦議員

問 市街地の内水氾濫対策は、丘陵地は圧力管方式で千曲川へ、平坦部は城山雨水排水ポンプ場に流入させ千曲川へ排水するが千曲川の水位上昇で自然流下しない場合はポンプ稼働で排水する。

問 台風19号・令和2年7月の豪雨災害被害の復旧状況は。

答 台風19号災害による城山雨水排水ポンプ場の復旧は令和2年5月完了。令和2年7月豪雨災害を受けて改修が必要とされた雨水施設の応急対応も完了している。

問 城山排水ポンプの事業内容は。

答 令和2年度からの3か年計画で工事を進めている。エンジン・放流ゲート等の機械更新と建物耐震補強、防水化工事を実施する。

問 公共下水道市街地雨水排水対策事業の概要と進捗状況は。

答 令和3年度からの5か年事業を第1期とし、令和3年度は城北下水道改修を実施。令和4年度以降は城址公園お濠復元に伴う貯留施設整備と、企業や市民による雨水タンク設置などの浸水対策事業を実施したい。

問 ユニバーサルツーリズムの必要性について。

答 ユニバーサルツーリズムの必要性は大変重要なものと認識している。高齢者や障がいのある方にも、より多くのお客さまに飯山市を訪れていただきますよう、また受け入れる際に十分対応できる体制づくりなどについても、関係機関や関係者の皆さんと共に進めてまいりたいと考えている。

問 「心のバリアフリー」について。

答 ユニバーサル社会の実現に向けては重要と考える。飯山市が、地域の先進的なモデルにしていきたいことが、自然豊かな飯山市にとって重要な課題であると思っている。

問 昨シーズン実施し反響が大きかった「スキーリフト無料デー」の来シーズンの実施について。

答 昨年2回実施された長野県民限定スキーリフト無料デーは多くの皆さまが利用され好評であったと聞いている。今年度の実施については索道事業者等と相談しながら実施に向けて検討してまいりたい。

駅前ホテル建設について



佐藤正夫議員

新型コロナウイルス感染症対策とネット環境整備



渡辺美智子議員

資源循環型社会への転換



高山恒夫議員

未成年者ワケチン接種、駅前ホテル誘致



松本淳一議員

避難所の対応について



石田克男議員

問 ホテル誘致は他の工場団地への企業誘致と同列か。

答 今回はホテルの建設運営事業者の募集、誘致であり、企業誘致と同じ考えである。

問 支援要望の内容は。

答 賑わい創出や交流の場施設建設・健康増進施設に合わせ5億円、稼働率向上への支援、ふるさと融資制度利用にあつたの迅速な手続の3点。

問 支援金算出の根拠と基準とするものは何か。

答 宿泊施設は上越市の類似事例を勘案し建設費の3分の1以内、健康増進施設は市民の医療費抑制効果と市想定施設の整備費用を考慮し対象経費の2分の1以内とした。また市と事業者が連携して事業が実施できるよう条件を付す予定。

問 5億円は過大と考えるか。過大であるとは思わない。市の施策と連携した観光振興を図れるホテル建設へ3億円、市の長期計画では建設に5億円かかる予定の健康増進施設がホテルに併設されることで2億円、それぞれ上限とする額は適当と認める。

問 諸般の理由で県外との行き来が必要な希望者にPCR検査の実施と補助を求める。

答 県では約16万回分の抗原簡易キット準備し、希望する市町村に配布するとしている。飯山市も活用していく。

問 MICE設置事業を進め企業誘致が進められたが実績は。

答 昨年度はゼロ。本年度IT企業1社から進出について相談を受けている。

問 市民が利用する公民館女性センター未来においてネット接続できないか。

答 どういう形でするかも考え来年度予算に向け検討。

問 県の中小企業者等特別応援事業に市として上乗せ事業が出来ないか。

答 支援が行き届かない方がもれている方に支援の必要がある。情報を寄せていただきたい。

◆補聴器購入補助

問 加齢性難聴は70歳過ぎで3人に1人、80代で3人に2人が難聴と言われている。

答 健康増進上、大きな課題である。どれくらいの対象者がいるか、どれくらい費用が必要か検討していきたい。

問 家庭ごみ組成調査の実態は。燃えるごみのうち生ごみが53.8%を占め、資源物の混入が14.2%。削減と分別への継続した取り組みが必要と考える。

◆海洋プラスチック問題

問 海洋へ流失した廃プラごみの受けとめは。

答 海洋汚染と生態系への影響が問題視されている。千曲川流域としても取り組みを担う必要があると考える。

◆下水道汚泥の資源化へ

問 下水道汚泥に生ゴミを混合し肥料化する事例があるが。

答 維持管理費のうち4割を占める汚泥処分費と電気代の削減は課題。当市に適した汚泥資源化を引き続き研究したい。

◆上流部の河川水位情報

問 立花水位情報は有効だが更に上流の広報はできないか。

答 どんな形がいいか検討したい。

◆情報共有から意識の共有へ

問 8月大雨で市警戒本部設置と同時に地区会議を開く実践があったが。

答 公助だけでなく共助と言われる地域コミュニティが災害時には重要。一体的になって意識の共有を図っていきたい。

問 新型コロナウイルスの流行が始まって約1年8か月で未成年者の死者は1名だけである。子どもにはコロナの危険性はほぼ無いと考えてよい。副反応のあるワクチン接種は慎重に検討する必要があるが、未成年者の接種は誰が決めるのか。

答 16歳以上は本人の同意により、16歳未満12歳以上では親権者の同意による。

問 駅前ホテル誘致は今回、プロポーザル方式がとられたが、応募が1社だけで違和感を覚えた。過去誘致に関心を示した企業に応募開始時に連絡しなかったのはなぜか。

答 ホームページ、市報、プレスリリースで発表した。関心のある企業は、民間情報サイトや新聞などで確認している。

問 市は事業予定者から金額含む支援要望書を提出させ、建設費用に3億円健康増進施設整備に2億円の上限補助を方針とした。募集時に補助を示さなかったのはなぜか。

答 補助を示すことで限度額を前提とした提案となり独自性が薄れると予想されたため。

問 8月12日夕方から降り始めた雨は、13、14日と降り続き、千曲川や内水が増水し、「洪水警報発表」まで至った。14日の17時45分「高齢者等避難」が発令、避難所の開設となった。高齢者等避難の発令の目安はどうなっているのか。

答 立花花観測所の水位を基準としており、7.5mに達し、さらに上流の水位観測所の状況から水位上昇が予想される場合、または一定時間後に氾濫危険水位9.2mに達する見込みの場合となっている。

問 避難所開設後、受付した用紙を一まとめにしてありましたが、集落ごとに箱等で分けられないか。

答 今回は準備できませんでしたが、区長や活性化センターなどと情報を共有するためにも今後対応していきたい。

問 避難所に保健師または看護師の配置についてはどのようなようになっているか。

答 指定避難所の7カ所は保健師を配置し、福祉避難所1カ所については保健師と介護福祉士を交代でそれぞれ配置した。

市民と議会の意見交換会を開催

令和2年9月定例会において制定した「飯山市議会基本条例」に基づき、市民の皆様の意見を議会運営や政策提言に反映させるための意見交換会が、市内2団体からの申し出によって初めて開催されました。

◆第1回「(一社)みゆき野青年会議所」意見交換会

- ・日時 令和3年10月12日(火)
- ・場所 市役所 議会全員協議会室
- ・担当 総務文教常任委員会
- ・案件 ①議会のしくみ
②SDGs推進への取り組み等



◎意見交換状況 議会側から議会のしくみについて説明、青年会議所側から、日ごろの活動を通じた地域の課題やSDGs推進への取り組み、子育て環境について提案があり意見交換をしました。

◆第2回「飯山市老人クラブ連合会」意見交換会

- ・日時 令和3年10月28日(木)
- ・場所 老人福祉センター 湯の入荘
- ・担当 産業民生常任委員会
- ・案件 ①老人クラブ連合会の現状
②会員増対策への取り組み
③老人福祉センターの機能強化



◎意見交換状況 高齢化に伴う役員のなり手不足により、年々減少するクラブ数と会員の現状報告があり、その対策として会員の直轄入会方法の取り組みや施設の機能強化策が出され意見交換をしました。

本会議を傍聴する方へお願い (新型コロナウイルス感染拡大防止について)

本会議については「iネット飯山」での放送および「YouTube」にて動画配信を行っております。
本会議を傍聴される方は、席の間隔をあけてお座りいただき、必ずマスクを着用ください。(入場者数の制限あり)

令和3年12月定例会
会期日程(予定)

- ◆招集・議案上程 11月29日(月)
- ◆一般質問 12月8日(水)
- ◆各常任委員会審査 13日(月)
- ◆委員長報告・採決 14日(火)
- ◆委員報告 17日(金)

◆◇飯山市議会本会議の動画を配信しています◇◇

☆ 受信方法

- 飯山市議会ホームページ 本会議動画配信ページ
- YouTube「飯山市議会」チャンネル



こちらのQRコードから



チャンネル登録
お願いします!

一般質問

観光振興対策について



吉越利明議員

問 サイクルツアーサポートバスの効果など今後の考えは。
答 広域エリアで自転車をはじめ各種アクティビティ体験旅行ができ、グリーンシーズンにおける観光振興の起爆剤となり観光関連事業への波及効果が期待できると考える。
問 道の駅拡張については。
答 農業と観光業を融合させた拠点施設として考えている。農産物直売所の拡張により多くの生産者の参加を促し農業生産額向上を図り、アクティビティの拠点施設としてモンベル社との連携を検討したい。

デジタル社会への対応について

問 若者からお年寄りまで幅広い世代への対応などの考えは。
答 紙ベースの広報を継続しながら、SNS等の電子媒体での発信を強化していく。
問 消防団の団員数減少について市の考えは。
答 長野県において各市町村の報酬等処遇の改善について調査が行われている。その結果を見て、機能別消防団の確保と合わせ検討していきたい。

駅前ホテルについて



岸田真紀議員

問 誘致しているホテルが開業した場合にどの位の地域経済への波及効果が想定されるのか、また試算等その状況はどうなのか。
答 ホテルが開業した場合の波及効果が事業者からの企画提案書の数値、長野県が公開している経済波及効果分析ツールを用いた現段階での簡易的な数値では、ホテル建設時の工事、家具・備品類の消費支出額を約15億円とした場合に、直接効果・一次波及効果、二次波及効果を含めると34億7000万円の経済波及効果を試算している。

避難情報発令時の対応

問 7月に熱海市で発生した盛土が原因の土石流災害や岡谷市の豪雨災害等をふまえた市内危険個所の点検の状況は。
答 国が国土強靱化事業の一環として大規模盛土造成地の状況調査を実施した。飯山市も14カ所の大規模盛土造成地が抽出されており、これについては昨年度現地調査を実施した。早急な対応を必要とする箇所はないが、引き続き県と連携を図り対応していきたい。

過疎地域を救う！地域おこし協力隊



飯田健一議員

問 農作業、集落活動などは過疎地域の活性化に有効と考えるが、当市では活用されていないのはなぜか。
答 活用しないという方針ではなく要望があれば相談させていただき、活用を検討したい。
◆持続可能な運営が必要不可欠！駅前ホテル
問 募集要項ではホテル運営者を定めよとあるが、それは誰か。
答 新会社設立前の現段階では、メンバー構成等の確認はしていないが、応募要件を満たす旨の誓約書も提出されている。

運営者が一番大事と考えている。当然ホテル経営の知識、経験が豊富でなければならぬと思うが、確認できないではまずいのではないか、それでは応募者の資格を満たしているとは言えないのではないか。

答 新会社設立後、事業者が行う運営形態はさまざまであり、実効性と具体性のある体制についても随時確認していきたい。

令和2年度飯山市決算と米価対策について



小林立喜美治議員

◆飯山市の決算内容について
問 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、令和2年度の税収は大幅に減収が予想されたが、決算状況はかなり余裕があるように見える。財源を積み立てに回すのでなく、これまで実施できなかった施策や、福祉・市民の負担軽減などに使うべきと思うが見解を。
答 普通会計で国庫支出金や交付金、ふるさと納税などの増により約17・9割の歳入増となった。税収は減少を見込んでいたが前年を上回ることであった。こうした内容をいかした市政運営のため市民に分かりやすく説明していきたい。

米価対策について

問 令和3年産米価の動向について令和3年産の生産者米価が大幅に下落するといわれている。その対策についてどのようか考えているのか見解を。
答 コロナ禍の影響によって業務用が激減、政府の適正在庫200万トンを超え3年産米価の下落が見込まれる。適正在庫にするには2、3年かかると想定される。4年産も新たな適正対策を検討していきたい。

令和2年度決算について



山崎一郎議員

問 コロナ感染症対策事業に多額の予算が求められた中で2年続いて8億円の赤字決算となり健全財政が継続されているが、中でも財政の将来負担額を充当可能財源が上回ったことは特筆すべき事である。主たる要因をお聞きしたい。
答 最も大きな要因はふるさと寄付金を財源とした基金残高が8億4000万円余増加したことと公営企業債の償還が進んだことや一部事務組合への負担額減によるものである。
問 市の財政状況を正しく理解しないので、「駅前ホテル計画に支援すれば、財政の破綻を招きかねない」との情報や、SNSやブログに出ているが、議員はそのような情報に左右されるものではないが、市民に向けて正しい情報発信の必要性を感じるが。
答 市では新幹線開業に向けた大事業のために積み立てた41億円の基金を3分の1取崩したが、健全財政につとめ基金を積み増した結果、昨年度決算で54億円の残高となり将来負担額を上回っている。財政状況を理解願いたい。